

平成24年度 第1回学校運営協議会

H24.4.26（木）15:00 ～ 16:30 於：多古高校会議室

- 1 開会
- 2 学校運営協議会委員任命
- 3 教育委員会挨拶
- 4 委員紹介
- 5 事務局説明
- 6 正副会長選出
- 7 議事
 - (1) 平成24年度学校運営の基本方針について
 - ① 学校教育目標
 - ② 学校経営方針
 - ③ 今年度の重点目標
 - ④ 具体的方策
 - (2) 本校の現状と課題について
 - (3) その他
 - ① 委員報酬について
 - ② 学校運営委員会の開催予定について
 - ③ その他
- 8 閉会

平成24年度学校運営協議会（第1回）

協議記録

議長

校長から説明のありました学校教育目標等と本校の現状と課題の説明がありました。今回は、学校教育目標、経営方針、重点目標や具体的方策について意見をいただき、承認を受けたいと思います。本年度の現状と課題については、次回の会で協議したいと思います。まずは、校長から説明のあった平成24年度学校教育目標等について意見ををお願いします。

G委員

内容がシンプルでわかりやすいが、具体的な内容があればもっとわかりやすいのではないか。例えば昨年までは、朝読書を定着させていくというのがあったが、今年度は具体的にはどうですか。

I委員

朝読書については、昨年同様行っていくが、あえて今年度の重点目標に掲載はしていないということです。

議長

今回は、学校教育目標等の承認ということであり、ある程度抽象的にはなっていくと思いますが、どんなことでも率直なご意見をお願いします。

C委員

校長先生からの現状と課題の説明の中で、生徒数が減少していく中で多古高校の現状を考えて行かなければならないということをミニ集会においても発言をしてきた。今後、多古中学校からの生徒は100名くらいになり、現状の定員160名を維持することは難しくなり、他校に頼らざるを得なくなる。そのためには、魅力ある学校づくりが大事になっていく。とある地域の親が「勉強をしないと多古高校にしか行けないよ」と言っていたのを聞き、これでは多古高校は良くなれないなと感じた。今後子どもたちに多古高校に行ってみたいと思わせるようなことを考えていたり、地域や入ってくる子どもたちにどうPRしていったら良いかをこの会で考えなければならないのではないか。

議長

具体的に子どもたちが行ってみたいと思う魅力ある多古高校にするためにさらに要点を絞ったかたちで意見を伺いたい。

M委員

話をお聞きし、なるほどそうだなと感じています。自分の立場から話をさせていただきませんが、本日の配布資料の「みんなの広場」で紹介されているように昨年3名の生徒がが当時小学6年生の授業に来てくれました。資料に出てきている生徒は、本校出身の生徒です。

校長先生から説明のあった本校の現状と課題の中の具体的取り組みのなかで小・中高のさらなる連携の強化が大事であると感じています。また、教員の交流として出前授業がありますが、多古高校から昨年3回も来ていただいています。そのような高校のお兄さんお姉さんを見て、子どもたちが多古高校に行ってみたいなと思う要素がたくさん出来たのではないかと感じています。これからも連携をはからせていただきたいと考えています。

B委員

学校教育目標等いろいろたくさん盛り込まれており、非常に良いと思います。いろいろな進路希望を持った生徒がいるが、何を目標とし、将来像を持って入ってこられるようにすることが大事だと思われます。たとえば、センター試験を目標として受けさせるようにするとか、生産流通科の生徒であれば、将来農業の経営に関することを目標にさせるとかこれだといったことをはっきりさせて重点にすれば良いと思う。

A委員

若い人たちなど農業の担い手がいないということだが、農業委員会の話では大学を出て何かおもしろいことをとということで農業をやろうとする人が多古町にかなり来ているとのこと。高校生も農業に魅力が持てるような何かがあって欲しいと思います。

N委員

多古町の特色として中学校と高校が一つずつということで、この中高の交流は引き続き続けていくことが町の活性化の要素となると思います。学校の中でお互いが協力して子どもたちを良くしていくということで地域全体が復活して来るのではないかと思います。いろいろな形で広報活動が続けていくと地域の人に関心を持っていくと思います。学校に対して関心はすごく持ってはいるが、こういったことについて理解されていない部分をアピールしていきたい。

D委員

保護者も子どもたちも高校を選択するとき、子どもの面倒をよく見てくれる高校を探す。また、子どもたちはもっと良くなりたいと必ず考える。したがって、たとえば進学を考えるのであれば近くの学校を選べば時間が有利である。しかし学校でその環境がなければならぬ。また、部活も同様である。いずれにしても、良い実践をしてそれを周知するのがとても大事だと思います。

H委員

今年度の重点目標に「地域とともに歩む学校づくり」があります。PTAという立場から述べさせていただきます。多古高校で作った農産物等をもっと積極的に生徒さんを使って販売するなどすると多古高校のアピールにもなりそのようなところに力を入れることが大事だと思います。

K委員

山辺委員が指摘するように、具体的に目標を定めていくことが大切です。そうすると、シビアな問題が出てきて、毎日の実践と対策が見えてきます。加えて、具体的方策で小・中・高の生徒・教員の交流とあるが、千葉科学大との関係がありますので、小・中・高のあとに大を入れるべきだと思います。

J委員

目標を立てるのは簡単であるが、どこまで続けるのかが大事であると思います。学習指導で「生徒による授業評価」は、大学では普通にやっていることであり、少し驚いているが新しいことに取り組むことは大事である。魅力のある学校にし、希望を持った生徒を集めていくこと、保護者が夢を持っていただけるような地域から信頼される学校、地域の要望に応じていける学校経営にしてもらいたい。もう一つは、地域に学校の広報活動をやっていただきたい。

議長

いろいろ貴重な意見をありがとうございました。

以上のことで教育目標、学校経営方針、今年度の重点目標、具体的方策までの承認をいただきます。ありがとうございました。本校の現状と課題については、次回に協議をします。